



国際ロータリー 第2690地区 第10グループ

# 玉野ロータリークラブ

■2009～2010年度 役員■  
 会 長 東川 清隆  
 会長Iレフト 岸本 昌法  
 幹 事 槌田 正則  
 副 幹 事 緋田 秀雄  
 S A A 松尾 洋二  
 副SAA 近藤 勇進

2009～2010年度  
 国際ロータリーのテーマ



国際ロータリー会長 ジョン・ケニー

# 週報

■事務局/〒706-0011 玉野市宇野1-11-1  
 TEL. 0863-33-2228 FAX. 0863-33-2225  
 ホームページ <http://www.tamano.or.jp/rotary>  
 E-mail [tamanorc@tamano.or.jp](mailto:tamanorc@tamano.or.jp)  
 ■例会場/瀬戸大橋カントリークラブ  
 〒706-0153 玉野市滝1640-1  
 TEL. 0863-71-4500 FAX. 0863-71-4509  
 ■例会日/毎週金曜日(12:30～13:30)

No.2030		
10月16日例会	プログラム 「ベトナム紀行」	三宅 孝治君
10月23日例会	プログラム 「玉野の地名と由来」	林 実君
10月16日のメニュー ・鶏肉のカシューナッツ炒め・小海老のグリーンピース塩炒め・玉子スープ・生姜風味の焼飯・杏仁豆腐・コーヒー		

## 前回(10月9日)例会記録

出席報告	会員総数	33名	出席者数	24名	欠席者数	9名	出席率	72.73%	前回補正率	78.79%
	前回補正者	石川君								
	欠 席 者	井上君 三谷君 三宅(孝)君 仲田君 小野君 高橋(秀)君 谷口君 上原君 山田(次)君								

### 会長挨拶

9月から、国税の新しい納付手段である「ダイレクト納付」がスタートしました。これは、e-Taxを利用して自宅・会社等に居ながら簡単に納税できるシステムで、事前に税務署に届出等をしておく事で、預貯金口座からの振替により即日または期日指定で納付する事ができる制度です。

従来の「電子納税」は、インターネットバンキングの契約が必要で口座維持手数料がかかる場合があるうえ、経理担当者に依頼する際に暗証番号を教えなければならないなど情報セキュリティ面でも不安が多かった処です。

ダイレクト納付はこうした電子納税の問題を解消。e-Tax で電子申告などの送信をした後、簡単なクリック操作をするだけで、すでに持っている預貯金口座から納税できるため口座維持費用も不要です。

対象税目は、源泉所得税、法人税、消費税および地方消費税、申告所得税等、電子申告が可能な税目で、金融機関や税務署に出向くことなく納税できるため、特に源泉徴収税など毎月定期的に納付手続きが発生する場合はとくに便利といえます。

なお、ダイレクト納付を利用するには、利用届け出書に氏名、住所、指定預貯金口座などを記入し、金融機関届出印を押捺のうえ税務署へ届け出。利用届出書を提出してからダイレクト納付が利用可能となるまで概ね1ヶ月程度かかる。

### 幹事報告

- ・ 他クラブ週報、例会変更通知は回覧させていただきます。

### スマイル・ボックス

- ・ 石川君-①藤田ガバナー補佐、東川会長、松尾会員、米山記念奨学会へのご寄附、ありがとうございました。②米山ランチ、ご協力ありがとうございます。③本日卓話をさせていただきます。④前回欠席。
- ・ 林君-①結婚記念月。②前回欠席。
- ・ 富永君-早退。

### プログラム 「米山月間に因んで」 米山記念奨学会委員会 石川勝幸委員長

今月は10月という事で、米山月間になります。米山奨学会事業の理解促進活動の一環として卓話をさせていただきます。

まずは、はじめに本日は米山ランチでした。皆様のご寄附ありがとうございました。そして、本年度においては、藤田ガバナー補佐をはじめとする、東川会長、松尾先生の3名の方が米山功労者としてご寄附頂きまして、この場を持ちまして深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。

さて、私もロータリーに入会させて頂いて、はや4年を迎えております。最初の年は親睦・家族委員会、2年・3年目は会報委員会、そして今年は米山記念奨学会委員会をおおせつかり、まだまだロータリーについての知識も

なく、米山がどういう事業なのか、豆辞典を読んで見たり、ネットを見てみたり、「ロータリーの友」を見たりと勉強中です。そんな中で、何を皆さんに伝えられるのかと考えまして、まずは、「ロータリーの友」「豆辞典」からの抜粋と、後程はネットで見つけた「米山奨学会紹介ビデオ」の中から、「すばらしい贈り物」という題のビデオをご覧頂こうと思います。既にご覧になられた方は申し訳ございませんがお付き合い下さい。

まずは「米山記念奨学会とは」というところだけもう一度お話しさせて頂くと、

(財)ロータリー米山記念奨学会は、「勉強、または研究のために来日し、わが国の正規の学校または研究機関に在籍する外国人留学生に対して奨学金を支給し、彼らの留学の目的を支援するとともに、ロータリーの理想とする、国際理解と親善に寄与することを目的とする。」という特色を持ち、1952年の東京ロータリークラブによる奨学事業の構想立案より、1967年の文部省（現・文部科学省）を主務官庁として設立されました。50年以上の歴史を持ち、年間およそ800人の奨学生を支援する国内最大の民間事業となっており、これまでに支援した奨学生は累計で1万5130人、その出身国は世界116の国と地域に及びます。

主な事業内容としては、奨学金の支給、世話クラブとカウンセラー制度、ロータリアンと奨学生との交流、国内外での学友会活動となっております。

この米山奨学会を運営するにあたって必要なのが寄付金になります。寄付金には普通寄付金と特別寄付金があります。米山には寄付した事が無いと言う方も、クラブ活動方針の時にもお伝えしたように、普通寄付金という形で年会費より寄付されております。又、本日のような米山ランチでも寄付の対象になっております。

では、前年度はどれ位の寄付が集められたかということ、14億9,400万円で、前々年度を4,200万円上回ったという事です。中には個人寄付最高額となる1億円のご寄附が含まれていたそうです。詳しくは、「ロータリーの友」3月号をご覧下さい。また、ネットでの情報によりますと、今年度最初の月である7月の寄付金は、約2億900万円でした。前年度に比べて6.2%減、約1,400万円の減少です。普通寄付金が3.2%減、特別寄付金が15.2%減と、特別寄付金が特に厳しい滑り出しとなりました。この数字は、過去10年間では2004-05年度に次いで2番目に低い金額だそうです。景気悪化の影響がここにも表れているように感じます。その中であらためて藤田ガバナー補佐をはじめとする、玉野ロータリークラブの皆様の支援に深く感謝いたします。

それでは、ここからビデオをご覧頂きたいと思います。

《ビデオ鑑賞》

今後の活動としては、来年2月と4月に2回の米山ランチを予定しております。どうぞご協力下さい。又、インターネットでは米山記念奨学会のホームページが今年8月にリニューアルされ、非常に色々な情報を見る事ができます。是非ご覧下さい。

ありがとうございました。